2027年3月期_中間期（２Q）
決算説明会資料

2026

株式会社システナ
2026年11月４日

本日の要点

01

売上高は計画どおり増収

4.1%

前年同期比 売上高

・通期予想・配当予想は修正なし
・売上高進捗 49.9%

02

構造改革により
収益性・稼ぐ力が着実に向上

17.0%

27/3期2Q EBITDA＋Sマージン

・前年比＋0.7pt 拡大 （16.3% → 17.0%）
・コスト構造の最適化が順調に進捗

03

AIを成長エンジンに、
中期経営計画達成へ

1,200億円

29/3期 売上高目標

・顧客接点からAI事業機会を創出
・準ストック型比率 72%→80%へ伸長

COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

２Qは計画どおり順調に進捗し、増収微減益で着地。

売上高

48,913 百万円

通期予想98,000百万円に対する進捗

49.9% 進捗　　前年同期比+4.1%

営業利益

7,558 百万円

通期予想15,960百万円に対する進捗

47.3%進捗　　前年同期比 ▲0.5%

前年同期比の推移　　単位：百万円

	26/3期 2Q	27/3期 2Q	前年比
売上高	46,967	**48,913**	**+4.1%**
売上総利益	12,205	**13,065**	**+7.1%**
営業利益	7,593	**7,558**	△0.5%
EBITDA+S	7,820	**8,329**	**+6.5%**
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,502	**5,344**	△2.9%

・売上総利益率の改善（-0.7pt）で販管費の増加（+16.2%）を吸収し、営業利益は微減（▲0.5%）にとどまる。
・マージン改善：EBITDA＋Sは16.6%→17.0%（＋0.4%）営業利益率は16.2%→15.5%に推移。

COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

第2四半期 セグメント別実績

7セグメント中6つが増益。モビリティは営業利益率 38.4%。

セグメント	売上高	前年比	営業利益	前年比	利益率
次世代モビリティ	4,080	**+7.5%**	1,564	**+6.6%**	**38.4%**
PMデザイン	6,586	△8.3%	1,597	**+1.6%**	24.3%
デジタルインテグレーション	6,579	**+23.4%**	1,682	**+31.9%**	25.6%
IT＆DXサービス	11,463	**+3.8%**	1,717	**+10.1%**	15.2%
ビジネスソリューション	18,186	**+0.7%**	1,479	△5.6%	8.1%
DX＆ストック型	1,725	**+7.2%**	187	**+40.0%**	10.9%
オンラインソリューション	518	**+583.4%**	78	**+339.0%**	15.5%

単位：百万円。売上高はセグメント間取引を含む。1Qより新7セグメントに組替え（前年同期も組替え後の区分で表示）。
調整額は売上高△142・営業利益△225。

モビリティ
営業利益率 38.4%
SDV案件、IDY・北米拠点含む

DI
売上 +23.4% / 営業利益 +31.9%
金融機関・行政DX

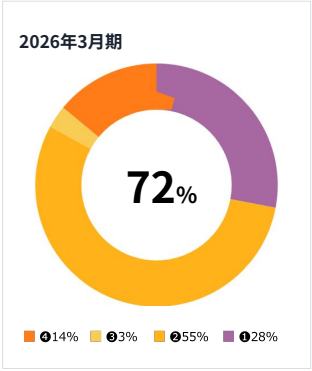
IT＆DX
営業利益 +10.1%
PM軸・上流拡大の取り組み継続

PMD
売上 △8.6%
一部PJをDI・IT&DXへ移管、上流再配置

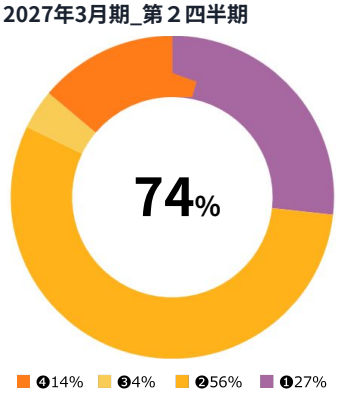
COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

継続収益型売上比率を3年で、72% → 80%へ

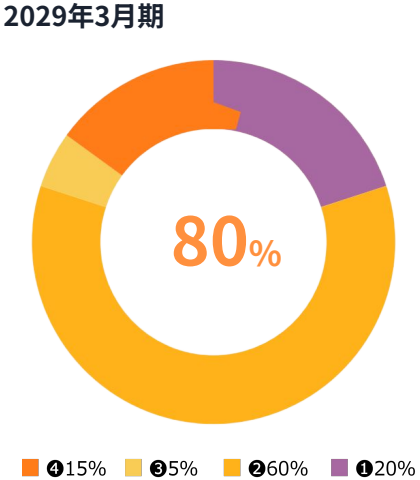
2026年3月期



2027年3月期_第２四半期



2029年3月期



4 SUBSCRIPTION
サブスクリプション型（定額課金） 14%→15%
M365 ／ Adobe ／ Google Workspace ／ 自社 SaaS

3 RECURRING
リカーリング型（更新前提の継続契約） 3%→5%
運用保守 ／ ライセンス管理 ／ PMO

2 REPEAT
リピート型（継続参画） 主力 55%→60%
顧客チーム参画型開発 ／ 常駐型受託開発 ／ 長期開発

1 FLOW
フロー型（1回完結） 28%→20%
ハード・ソフトウェア販売 ／ スポット案件 ／ 単年プロジェクト

準ストック型＝**リピート**＋**リカーリング**＋**サブスクリプション**。

COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

2つの戦略

AIクロスドメイン戦略

AIを中核に、営業・開発・サービスの3事業の知見をつなぎ、「どこにAIを使うか」の発掘、「業務にどう実装するか」の設計、「使い続ける」ための定着・改善までを一気通貫で支援します。

継続的な改善サイクルで顧客とともに成長し、システナの競争力につなげます。

AI人材教育戦略

事業の知見をつなぐAIクロスドメイン戦略は、それを担う人材があってこそ成立します。

全社員のAIリテラシー向上から、営業・開発・サービスのコア人材育成までを体系的に進め、現場での実践を通じて磨き上げます。

AIを使いこなす人材を継続的に育て、システナの競争力につなげます。

COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

企業のAI活用を支え、
将来の計算基盤へ事業を広げる

AIを動かす設備、情報を守る仕組み、導入後の運用を組み合わせます。

企業ごとのAI活用

クラウドとローカルを組み合わせ
情報保護・業務での利用まで支援

地方分散型AIデータセンター

増えるAIの計算需要を支える
地域の拠点づくりを検討

共同検討中

システナグループの「販売・構築・開発・保守運用」をつなぐ取り組み

AIを業務で使い続けるために、
設備・情報保護・運用を一緒に整える

1
AIを動かす

用途に合う計算設備と
AIの実行環境を整える

高性能サーバー／ローカルLLM

2
情報を守る

扱う情報と利用者に応じて
アクセス権や保護策を整える

認証／暗号化／セキュリティ支援

3
使える状態を保つ

業務との連携、問い合わせ、
障害対応と保守を支える

システム連携／運用支援

企業ごとに、クラウドとローカルを組み合わせる

高度な検討と、現場で繰り返す処理を分担

クラウドの高性能LLM

外部の大きな計算設備を利用

複雑な分析・比較
提案や資料の作成

高度な検討や、多様な知識の活用に

ローカルLLM／エッジAI

社内サーバーや、現場の端末で実行

社内情報の検索・整理
繰り返し行う定型処理

手元のデータや、現場の処理に

業務と情報の扱いに応じて、性能・応答速度・費用を見極める

システナは、AIの選定から業務連携・情報保護・運用まで支援

systena

導入から安定稼働までをグループで支援

01

設備をそろえる

用途に合うサーバーの
選定・販売・構成提案

Supermicro社製品
システナの販売・導入支援

02

業務につなぐ

社内資料の検索や
既存システムとの連携

システナの
システム構築・開発

03

安定稼働を支える

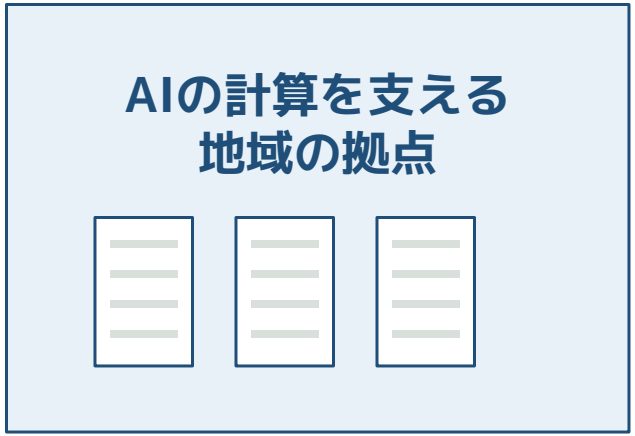
技術サポート、障害対応、
保守・運用

ProVisionを含む
システナグループ

情報保護も組み合わせる　StrongKeyの認証・暗号化技術 ＋ Systena Secure-Linkの対策・運用支援

志摩市の地域資源とAI技術を組み合わせる

志摩市	用地・既存施設や制度面の支援
Supermicro	水冷式AIサーバーと技術支援
システナグループ	設計・構築、保守・運用の知見



共同検討中・構想イメージ

計算設備を地域へ分散し、電力・冷却の効率と環境負荷低減を追求

販売から安定稼働、AI活用まで
システナグループの力で支える

販売体制の強化 | システナ

Goldシリーズの取り扱いと
ファイナンスサービスで導入を支援

運用・保守体制の強化 | ProVision

Supermicro保守認証を取得し、
運用・保守・技術サポート体制を強化

アライアンスの推進

志摩市やAIデータセンター関連の
技術パートナー企業と連携

ローカルLLM、セキュリティ | システナ

お客様の管理環境で動くAIを整備し、
社内情報の活用や業務との連携を支援

企業のAI活用を支え、AIデータセンター構想の具体化を進める

AI活用ソリューション

市場の課題を起点に、ツール導入と独自開発の「2軸のアプローチ」、そして確実な定着を促す「伴走支援」で、ビジネス価値を創出します。

市場の壁

企業が直面する3つの壁

1. 導入・調達の壁

数あるAIツールから自社に最適なライセンスを選定し、セキュアに導入するハードル。

2. 運用の壁

導入後のセキュリティガイドライン策定や、継続的な管理体制の不足。

3. 定着の壁

「入れたが使われない」。
現場のプロンプトスキル不足による形骸化。

2軸のアプローチと伴走支援

AIツール導入・定着化を軸としたソリューションマップ

Gemini Claude

	企画・設計	導入	運用・改善・利活用
戦略	AI活用ロードマップ	AI推進チームサポート	効果測定・モニタリング
技術基盤	AIツール販売・導入	AI活用環境構築	RAG構築
業務変革			
人材育成組織開発	AI人材育成計画	AI活用研修	部門推進者支援

AI活用戦略設計

ツール販売・導入

お客様の課題や業務特性に合わせて最適なAIツールを選定し、現場ですぐに活用できるスムーズな導入を実現。

AI環境構築支援

お客様のご要望に応じて、要件定義からリリースまで一貫して対応。安全かつ業務にフィットしたAI導入を強力にサポートします。

AIリテラシー研修

自社で利用できるAIツールを明確化し、情報セキュリティ観点でのリスク管理や、安全に使うためのポイントをレクチャー。受講者の“使ってみたい”を創出します。

標準機能ではカバーしきれない固有の業務課題に対しては、当社の『開発力』を活かした独自AIソリューションで解決します。

独自AIシステム開発

標準ツールでは手が届かない複雑な業務要件を、フルスクラッチ開発でシステム実装。

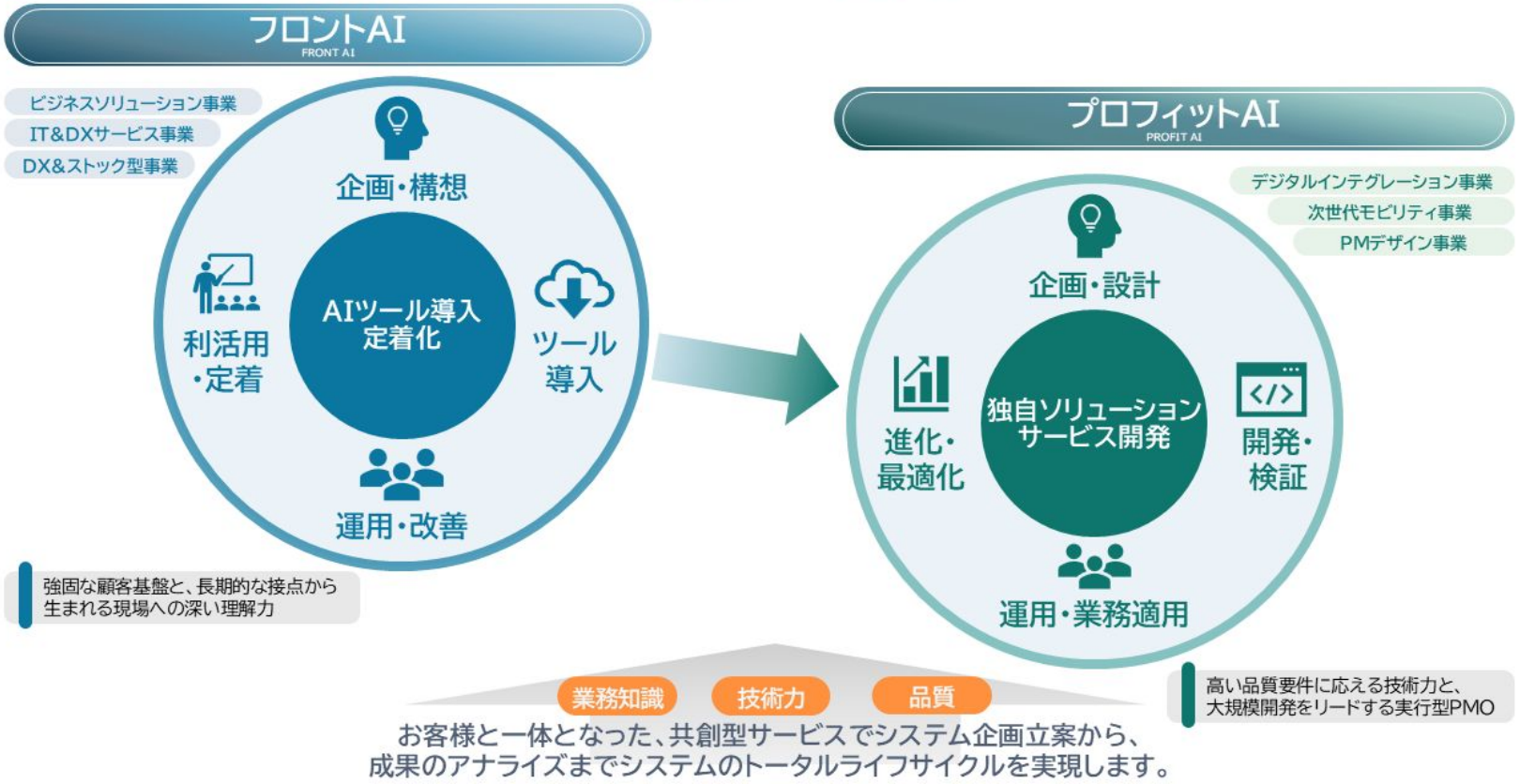
既存システムへのAI組み込み開発

業務特化型AIエージェントの開発

COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

システナ AIソリューションマップ

AIを成果に変えるシステナのAIサービス



COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

システナ AIソリューションマップ

AIを成果に変えるシステナのAIサービス

様々な業界のシステムライフサイクルを支えてきたノウハウで、**生成AIを「使う」から「成果を出し続ける」**へシステムに変革します。

業務知識　技術力　品質

お客様と一体となった、共創型サービスで
システム企画立案から、成果のアナライズまで
システムのトータルライフサイクルを実現します。

企画・構想

AIを成果に繋げる構想支援

- **AI Strategy Compass**
  戦略・ロードマップ策定
- **AI Talent Blueprint**
  人材育成・評価制度設計
- **AI Flow Designer**
  人×AI 業務フロー再設計
- **AI Readiness Scan**
  業務棚卸・適用アセスメント

導入・開発

生成AIを活用した超高速開発

- **AI Tool Launcher**
  AIツール販売・導入支援
- **AI Agent Factory**
  AIワークフロー・エージェント実装
- **AI Dev Booster**
  AI駆動開発・内製化伴走
- **Knowledge Relay**
  ナレッジ継承AI
- **AI Data Hub**
  データ統合・分析基盤構築

運用・業務適用

AIを業務に浸透・定着

- **AI Ops Care**
  AI運用保守・BPO支援
- **AI Tech Desk**
  一次回答自動化
- **AI Value Monitor**
  効果測定・ROIモニタリング

進化・最適化

進化を促すアナライズ

- **AI Office Buddy**
  定型業務代行AIエージェント
- **AI PMO Partner**
  推進組織 立上げ・運営伴走
- **AI Skill Dojo**
  AI活用研修

COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

AI人材育成方針

AIを使う人材から、AIで顧客価値を生み出す人材へ 全社教育プランを整備し、AI人材の育成に注力中

全員向け

AI基礎リテラシー

個人レベルの生産性向上に向けて、AI活用のリテラシー教育を全社員に適用。

育成する人材像

AIの基礎知識 × 安全な使い方 = 仕事を速くする社員

① AIの基礎知識

② 業務での活用ノウハウ

③ 安全な使い方

育成のステップ

基礎研修 → 理解度チェック → 活用事例の共有 → 適用シーン拡大

SE／PL向け

AI活用型開発力強化

AI駆動開発を実践する為のアセットを展開し、高速開発・高効率開発を実現する。

育成する人材像

AI活用の創意工夫 × 開発力 = 高度AI技術者

① AI活用の創意工夫

② 開発力・品質担保力

③ 業務知識・仕様理解

育成のステップ

ハンズオン研修 → プロジェクト適用 → 分野特徴の取り込み → アセットを共有

中核人材向け

AIトランスレーター養成

顧客課題の解決に直接アプローチする人材育成を目指し、AIに精通した課題解決要員を育成する。

育成する人材像

顧客課題の理解 × AIの知見 = 課題解決要員

① 顧客課題の把握

② AI活用の構想力

③ 提案・推進力

育成のステップ

業務を理解 → AI活用を構想 → プロトで提案 → 導入・効果検証

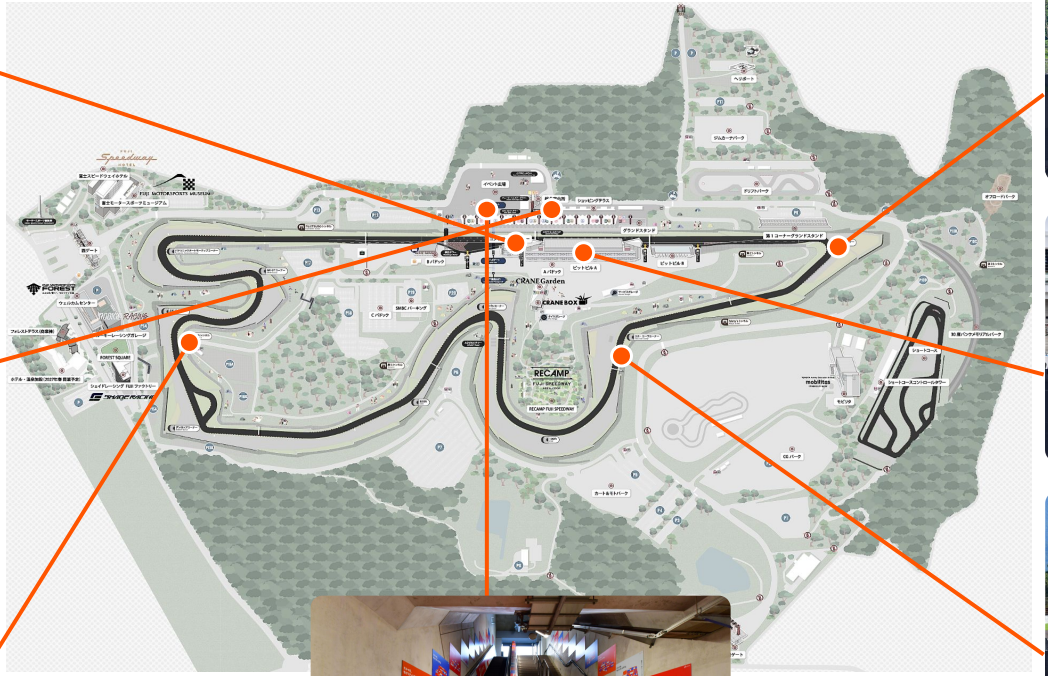
COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

日本最高峰のモータースポーツの聖地「富士スピードウェイ」の主要各所に、システナのブランド広告を大規模展開

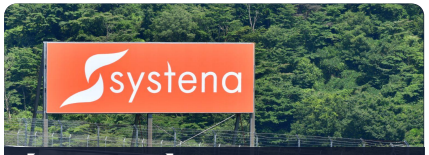
【システナゴールブリッジ】
富士スピードウェイ初のゴールブリッジの命名権にシステナの冠を付けさせていただきました。

【総合案内所壁面】
ロータリー前の総合案内所の壁面に巨大看板を掲出しています。

【2317コーナー】
旧13コーナーにシステナの証券コードを付けた新名所コーナーです。

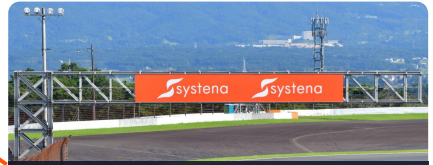


【地下通路エスカレーター】
多くの観客が行き交う地下アクセスエリアです。



【GRコーナー】
富士スピードウェイ最大の見どころであるGRコーナーの野立て看板にシステナのロゴが掲出されています。

【ピットビル A棟】
グランドスタンドの正面に位置するピットビルA棟にシステナロゴが掲出されています。



【第3コーナーブリッジ】
コカ・コーラコーナーのブリッジにシステナのロゴが掲出されています。

COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED

「本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。」

COPYRIGHT ©2026 SYSTENA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED